

令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

佐世保市立日野小学校

佐世保市日野町1308番地



校長 山口 博徳 児童数591名 学級数24学級

—— 特色ある学校づくりのテーマ ——

**自分の考えや思いを豊かに表現し、
高め合う児童の育成**

「夢」「笑顔」「元気」を引き出すための特色ある学校づくり

- (1) 学力調査をもとにした一人一人に応じたきめ細かな指導の充実
- (2) 言語活動を充実させて、自分の思いを表現させることを通した学力の底上げ
- (3) 地域体験活動を通した郷土愛の育成
- (4) 地域の方々を通しての開かれた学校づくりの推進
- (5) 環境教育、福祉教育、平和教育、ふるさと教育を通して豊かな心を育む教育の実践

地域の「人」「自然」「もの」

第1学年 「ふるさと教育」 昔遊び交流会

- 1年生の児童は、生活科「むかしからの あそびをたのしもう」の学習で、昔遊びに親しんだ。遊び方などを教えてもらうために「むかしあそび交流会」を12月に実施した。あやとり・おはじき・お手玉・羽根つき・かるた・だるま落とし・竹とんぼ・けん玉の遊びを準備し、交流会には、およそ60名の地域の方が参加してくださった。子供たちは、遊び方を教わったり、一緒に遊んだりして楽しく過ごすことができた。地域の方に、優しく教えてもらったり、できるようになったことを褒めてもらったりして、素晴らしいふれあい体験ができた。
- 1年間いろいろ教わってお世話になった6年生の卒業式に飾るために、感謝とお祝いの気持ちをこめて、自分の植木鉢にビオラを植える栽培活動に取り組んだ。



体育館でのあやとり交流



屋外での竹馬交流

第2学年 「ふるさと教育」 もっと知りたいたんけんたい

- 2年生は、生活科の学習として地域のお店や公共機関を見学し、調べたことを発表する機会を設けた。見学では学年を縦断して12班に分かれ、児童の関心に沿ってインタビューを行った。
コロナ禍の中、見学の受け入れ先を確保することに難航したものの、自動車学校のシミュレーター体験やパトカーの実物の見学、新聞の折り込みチラシを入れる体験、お菓子の新製品のサンプルなど様々なおもてなしをしていただいた。地域で暮らす方々の児童に対する思いや願いを感じることができた。
- その後、各学級に分かれ、11月22日の授業参観で調べたことの発表を行った。発表は新聞・クイズ・ペープサート・寸劇等、多様な形式で行った。保護者からも「あのお店に2階があるなんて知りませんでした」等、楽しみながら参観していただくことができた。



交番でパトカー見学



ペープサートで発表

第3学年 「環境教育・ふるさと教育」 ふしぎ発見九十九島！

- 3年生は、環境教育の一環として九十九島の自然について調べ学習を進めた。海きらら水族館とビジターセンターの協力を得て、水族館見学を4回、長尾半島ウォークラリーを1回行った。

海の生き物についてのレクチャーを受けたり、水族館の見学をしたりする中で個人のテーマをもった。そのテーマについて、水族館でさらに詳しく観察したり、スタッフにインタビューを行ったり、書籍やインターネットを利用したりして調べを進めた。

はじめは、絵日記のように、楽しい見学のことを記録していたが、だんだんとメモの取り方も上達し、たくさんの情報を集められるようになってきた。

- すべての見学を終了した12月から、調べたことをまとめる学習に入った。発表原稿を書き、それに合わせた写真などを集め、タブレット端末（クロムブック）を活用してスライドを作った。初めての経験で、子どもたちのパソコンスキルからすると、かなり難しい作業だったのだが、お互いに教え合ったりしながら少しずつ上達していった。
- 2月の最後の参観日に、1人ずつ教室のテレビにスライドを映しながら調べたことを発表した。原稿を半分以上覚え、タブレットを操作しながら相手を見て立派に発表できる子が多く、自信につながったようである。



海きらら水族館見学



長尾半島ウォークラリー

第4学年 「平和教育」 平和 ～長崎原爆について調べよう～

- 4年生では、平和学習の一環として戦争や平和について学習を進め、「長崎県民祈りの日（8月9日）」に合わせて、スライド発表を行った。各学級で6～7班に分かれ、それぞれのテーマに沿って調べたことを「スライドショー」形式で発表するものである。

事前に各班で発表したいテーマを決め、タブレット端末（クロムブック）を活用して調べ学習を行った。その後、調べた内容をスライドショーにまとめ、原稿を作成し、何度も発表練習に取り組んだ。

- 各班は8月9日の全校での平和集会（放送集会）後に、1～3年、5年6年の各担当教室に赴き、準備・練習してきたスライド発表に取り組んだ。発表にはそれぞれの役割があり、班の発表が上手くいくように、一人一人が真剣に取り組むことができた。

また、普段はあまり交流のない他学年児童の前での発表ということもあり、緊張感もあったが、よい経験・発表ができたものと思う。なお、ICT活用力には大きな個人差もあるため、互いが助け合う中で、相手を尊重したり、思いやり合ったりする良い成果も見られた。



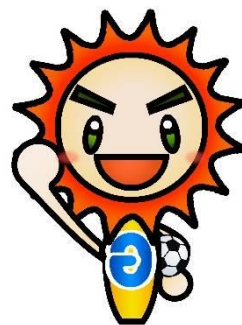
当日の「戦争と平和」についての発表の様子



YUME



EGAO



GENKI

第5学年 「福祉教育」 「ふくし」って何？

- 5年生は、社会福祉協議会の協力を得て福祉教育を中心に学習を進めてきた。「車いす体験」・「アイマスク体験」・「高齢者疑似体験」を通して、介助する側とされる側の立場を体験し、福祉に対する理解を深めた。学習後、それぞれが興味をもった内容で調べ学習を行い、学級内で共有することで更に広い範囲の知識を得ることができた。学習後の児童の感想には「相手が不安にならないような介助ができるように、明るい挨拶から始めたい。」や「困っている人に気づき、言葉をかけられる人になりたい」などの意見が多く見られたことから、知識だけではなく、心情も確実に成長していることが分かった。
- 12月に行われた人権集会では、これまでの取り組みの紹介をする機会ができたので、各学年に合ったテーマを班で考え、タブレットで発表資料を作成し活動報告を行った。コロナ禍で外部発信が制限された中、他学級への発表をすることができ、「相手に伝えるにはどうすればよいのか。」をみんなで考えながら、意欲的に参加することができた。
- 地域のグループホームとの交流については、直接的な交流はできなかったが、子どもたちの活動する姿を動画で見ていただくという取り組みを小規模ながら実施することができた。今後も、地域との交流を、社会の状況を見ながら拡大していきたいと考えている。



車いす体験の様子



人権集会での活動発表の様子

第6学年 「環境教育」 未来を守る ～私たちのSDGs～

- 6年生は、「SDGs」について取り上げ、社会の一員として何ができるか考えさせて、PDCAサイクルの中で探究させた。
まずは、17の課題について知るために、動画やすごろくを使って知識を深めた。

今、社会で起きている問題は日常生活と大きく結びついていることを知り、より探究したい課題を1つに絞って、グループ学習を行った。本やインターネットを使って現状と課題について更に調べ、学校や家庭でどんなことができるか活動計画を立てた。

そこから、「効果的かどうか」「継続できる活動かどうか」等、様々な視点をもって活動を何回かに分けて実施した。また、自分達の計画や活動をふり返り、改善点をみつけて持続可能な社会にするための持続可能な活動を考えることができていた。

最後は報告書を作成し、自分たちの取組の成果と課題を十分に考えることができていた。この学習を通して、探究の流れや協働的な姿勢、ICTの活用など、様々な力を身につけることができた。



すごろくゲーム



本やインターネットの活用

